

広島県大学図書館協議会 平成 27 年度年度第 2 回研修会実施要項

第 1 部 お悩み相談カフェ（ワールドカフェ方式） 13:10～14:55（105 分）

* "ワールドカフェ [新語流行語]" *

カフェのようにリラックスした雰囲気の中で特定のテーマについて自由に話し合い、創造的なアイデアを生み出そうとする対話法。1995 年に、アメリカのアニータ・ブラウンとデイビッド・アイザックスが開発・提唱した。4、5 人程度のグループを組み、メンバーを入れ替えながら話し合いを繰り返す。

こうすることで、参加者全員と話し合っているような効果が得られるほか、参加意識が高まり、一体感や活力が生まれるなどのメリットがある。近年、日本でも新しい会議の手法として注目されており、大学や企業などで導入されている。

【引用】情報・知識 imidas, JapanKnowledge, <http://japanknowledge.com>, (参照 2015-04-23)

(構成)

13:10～13:20 オリエンテーション 10 分

13:20～14:30 ワールドカフェ（20 分×3 セット+グループ内共有） 70 分

14:30～14:55 発表（3 分×6～7 グループ） 25 分程度

(進行)

- ①指定されたグループで着席をします。
- ②グループ名を決めます。(アイスブレイクを兼ねます)
- ③グループ内に一人オーナーを決めます。オーナーはテーブルから移動しません。
- ④1 セット 20 分間お悩みをしゃべります。(メンバーの話を否定せずに受け止めます。)
- ⑤しゃべりながら全員がメモしたいことを模造紙に書き出します。
- ⑥20 分経つとオーナー以外はテーブルを移動します。
- ⑦2 セット目開始。最初にオーナーが 1 セット目の内容を要約して伝えます。
- ④～⑦を繰り返します。
- ⑧3 セットが終わったら、はじめのテーブルに戻って情報を共有します。
- ⑨その共有した内容の発表をオーナーが行います。

第 2 部 図書館をブラッシュアップ！（図解を用いたワーク） 15:15～16:55（100 分）

*図解活用術（第 1 階研修会テーマ：図書館の見える化にチャレンジ～図解活用術～）

第 1 回の研修会では、図解を理解する、図解を使えるようになる、そして、図解を使って図書館の課題を「見える化」することで解決できるようになる、という内容で講師をお招きしてワークを用いた実践を行いました。図解によって問題を解決するとは、現状（課題）を関係者が正確に理解し、同じ認識を持つ、そして、関係者が同じ目標・目的を持って統計情報を使い、関係者が同じ基準で手段の効果を

認識するというものです。

1. 図書館員業務の課題を明確にする。(誰が困っているのかを明確にする。職員それとも利用者?)
2. あるべき図書館員業務の姿・体制を具体化する。(誰のために、どうあるべき?を明確にする)
3. 改善策を作成し、取組む優先順位を決める。(費用と効果などの基準を明確する。時間?お金?)
4. グラフの縦軸と横軸に明確にしたい基準を置き、どの改善策が最も効果的かを視覚で認識する。

【例】研究者(学生・教員)への学習・研究支援(蔵書・データベースの構築など)の充実をすべきか?

- ・職員としての業務の姿勢は「研究者への検索のアドバイス」?
- ・職員としての業務の体制は「蔵書量の充実」?誰のために?どうあるべき?
- ・かかる経費は?効果は何をもって決める?論文数?アクセスログ?

講師 PDF : <http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/haul/wp-content/uploads/2015/07/2701siryo.pdf>

今回の研修会では、各館で取り組んでいる内容(自慢)について話をする中で、有効なアイデアを考えることをワークの中心にしています。第1部のお悩みもこの「アイデア」を考える中で解決されるかもしれません。それを目的とするため、第1部と第2部は同じグループで実施します。

(構成)

15:15~15:30 オリエンテーション 15分 (図解の解説含む)

15:30~16:15 図解を用いたワーク 45分程度

16:15~16:40 発表 (3分×6~7グループ) 25分程度

16:40~16:55 全体シェア 15分

(進行)

①付箋に各館での取り組み(自慢)をそれぞれで書き出します。3分

②グループ内で共有します。5分

③アイデアを出すための方向性を決めます。5分

「who」(だれのために)「be」(どうするべきか)「why」(この理由だから)

④方向性に基づいて軸を決めます。①の付箋を軸にあてはめて貼ります。5分

⑤新しいアイデアを付箋に個人で書き出します。3分

⑥グループで共有します。5分

⑦①の付箋をボードに貼り(①と⑤の付箋が張り付いた状態)、アイデアを決めます。10分

⑧GWで考えたアイデアを発表します。25分

*他のグループはよいと思ったら「いいね!」をあげます。複数可。